



立志プロジェクト2022 通し第5回

少人数クラス8組(演習)第3回:講義2隠岐さやか先生ふりかえり

2022年4月25日(月)

リベラルアーツ研究教育院(ILA) 教授 中野民夫
tamio.nakano@me.com

まばゆい新緑の季節、東工大での新学期を
いかがお過ごしですか？

そして隠岐先生講義、隠岐・三ツ堀対談、
いかがでしたか？僕は見田先生の話が嬉しかった。

お詫び：ふりかえりノート課題枠を作るのを失念してました。
しかも昨夜焦って第3回（先週の少人数授業）の所に作ってしまった。
今朝第4回の所に作り直しました。どちらかに提出を。

4月18日の少人数クラスの授業スライドのアップの場所も間違えてました。先ほど訂正しました。ごめんなさい。

メールでご指摘くださった皆さん、ありがとう。

(確認)

立志プロジェクト2022授業日程一覧

木曜の講義を受けて月曜に少人数が基本
通しで全14回、少人数クラス(演習)は9回

【演習(少人数)】(月)zoom生

- 4/11 : **ガイダンス**
- 4/18 : 池上ふりかえり
- 4/25 : 隠岐ふりかえり
- 5/2 : 永野ふりかえり
- 5/9 : **書評セッション**
- 5/16 : 須田ふりかえり
- 5/23 : 小川ふりかえり
- 5/30 : **最終プレゼン**

【講義】(木)までに動画配信

- 4/14 : 池上彰先生
- 4/21 : 隠岐さや香先生
- 4/28 : 永野三智先生
- 5/5 : 休み
- 5/12 : 須田桃子先生
- 5/20 : 小川公代先生
- 5/26 : **少人数クラス**

今日のアジェンダ

(基本的な流れは前回と同じ+GSA、書評)

1045-1225

- 10:45 オリエン、FBシートから、**GSA**紹介
- 10:55 **ホームグループ**でチェックイン：どうしてる？
- 11:05 **小グループ対話1：サマリー（要約）**
- 11:25 全体で
- **11:30 小グループ対話2：レスポンス（応答）**
 - グループを替えて。
- 11:55 全体で、**書評**について
- 12:10 **中グループ（7人）**でチェックアウト
- 12:20 次回に向けて、フィードバック

前回のフィードバックシートから Googleフォーム

- 同じ動画を見たのに考えることが人それぞれで違うのが面白かった。
- 今日1番の発見は、zoom上に顔を出しても全く緊張しなくなったことです！初回の授業は緊張で心臓バクバクだったのですが、今日は落ち着いて自分の意見を話すことが出来ました。大きな成長だと思います。
- 他の人のふりかえりノートを見て、自分のノートの改善すべき点が見つかって良かった。
- 自分の考えをしまっておかずに他人と議論することの大切さを実感した。
- 先生のお話を疑うことは意識しないと難しい。気づかないうちに先生の話的前提にしていた。
- 一つの情報を正しく判断することには大量の情報が必要になりうる。批判的に物事を考えることは重要だが、批判的なだけになってはいけない。

講義→少人数クラスへ

- 木曜配信の講義を見て、**ふりかえりノート**記入
- **「①サマリー」（要約）**：
 - 何を聴いたか？客観的に話をふりかえりそしゃくする。印象的な点を中心に。
- **「②レスポンス」（応答）**：
 - 話を聞いて何を感じ考えたか？各自の意見を表現してみる。主観的で良い。
- 今回はwordフォーマットで
 - 今チャットにファイルデータを貼るので受け取って。
 - 各800字を目安に記入。少人数クラス前に提出。

今日からGSA二人が参画！

- GSA : Graduate Student Assistant
 - 大学院の修士課程の学生で、リーダーシップ道場を履修済。今リーダーシップアドバンスを履修中。
- この少人数クラス（演習）の3(4/25)、4(5/2)、7(5/23)回目に来て、ファシリテーターの修行。
 - 「教えるのが最大の学び」です。院生が学部生の面倒を見ながらお互いに学び合う「学び合いのコミュニティ」を目指しています。
- 田島らい華さん、町田亮人さん、自己紹介をお願いします。
 - 高尾・江原・鈴木先生と共に、今日は中に入ってもらいます。
 - 来週、どこかのパートを任せますからどこをやりたいか考えながら受けください。終わった時に少し残って打ち合わせしたく。

立志少人数クラスの基本構造(100分)

シンプルにするとこの4つ

<ファシリテーターの役割>

起 導入：オリエン・チェックイン

- ・場をつくり、調える
- ・何をどうやるか明示
- ・話しやすい環境作り

承 対話1：サマリー（要約）

- ・小グループに分ける
- ・やり方を明確に示す
- ・任せ、時にサポート

転 対話2：レスポンス（応答）

- ・小グループの再調整
- ・やり方を明確に示す
- ・任せ、時にサポート

結 全体で：ふりかえり・まとめ
・次へ

- ・みんなで学びを共有
- ・宿題や次回など次へ
- ・連絡等、疑問の解消

まずはホームグループでの
チェックインから始めます。

**最高のホームグループになる
かどうかは、自分次第！
4人の中の1人の影響は大。**

多様な人々と違いを認め受け
入れ、活かし合っていく練習。

まずは、笑顔で。リアクショ
ンは大き目に。

<オブザーブ教員>

鈴木健雄・高尾隆・江原慶

→共同ホストに今日は4.5.6班に？

<GSA>

田島・町田

1	1 理学院
	8 工学院
	15 物質理工学院
	22 生命理工学院
2	2 理学院
	9 工学院
	16 物質理工学院
	23 生命理工学院
3	3 理学院
	10 工学院
	17 物質理工学院
	24 環境・社会理工学院
4	4 理学院
	11 工学院
	18 物質理工学院
	25 環境・社会理工学院
5	5 理学院
	12 工学院
	19 情報理工学院
	26 環境・社会理工学院
6	6 工学院
	13 工学院
	20 情報理工学院
	27 環境・社会理工学院
7	7 工学院
	14 工学院
	21 情報理工学院
	28 環境・社会理工学院

講義のふりかえりに入る前に まずはホームグループでチェックイン

-11:00

- 今日もホームグループの4人から。
- **話す順番：大岡山までの通学時間の短い順**（まず大体何分か話して）
- **①所属と名前を確認し**、さらに、
- **②近況：どうしてる？**
 - **この1週間どんなことがあった？今どんな感じ？**
 - What happened? How did/do you feel?
- **③書評、今どんな具合？**
 - お題はチャットに入れます。
- BOR 7組作るので自分のホームNo.に自分で移動して。
 - ルームNo.の行にカーソルを当て右端の「参加」をクリック。
- **11時まで、約6？分間お楽しみください。**

ふりかえりノートを拝見して

直前で提出

- 課題枠の遅れ、混乱、ごめんなさい。
- 今回もかなりのバラツキが。
- そっけなさすぎる人が多い。しっかりノートを取れる、しっかり自分で考えて表現できる、は、これから社会で生きていく人間力の基本です。
- 名前の抜けている人が。どうしてだろう？ 吉田・荒井ほか

小グループでの対話 1 : サマリー (要約)

1100-1120

「画面共有」のやり方、大丈夫かな？

- **「①サマリー」 (要約) :**
 - 何を聴いたか？客観的に話をふりかえりそしゃくする。
印象的な点を中心に。
- **ふりかえりノート**をデスクトップに開いておき、交代に画面共有して見せ合おう。
- 先の順で回しながら、**話の全体像を捉え直そう。**
 - 一人が一度に全部を話さず、一まとまりずつ交代で出し合ってみようか。そのことについて皆から自由に補い合って、しっかり理解できるように。
 - 最初の方、進行役 (ファシリテーター) をよろしく。時間配分も。
- もし時間残れば、レスポンスに入ってもいいですよ。
 - グループ替えるのでここで話しておきたいことはどうぞ

どうでしたか？

- 少し全体で自由に揉みたいな。
- 中野は、博報堂時代には、両方いたなあ。数学科とか農学部出身のコピーライターとか。東工大卒も50人以上いるらしい。
- 先生方は、文理の問題、それぞれの前職の大学などでどう感じてましたか？

組み替えしまーす。やり方

東工大出身の室田先生に習いました。

- ホームグループ・ナンバーを「n」とする。
- チェックインで話した順に1~4番とする。
- 1番の人： $n+2$
- 2番の人： $n+3$
- 3番の人： $n+4$
- 4番の人： $n+0$ （動かない）
- * 7を超えたら： -7
- で新たなグループを7つ作ります。
 - 自分で新たなグループの番号の部屋に参加して。

小グループでの対話2： レスポンス（応答）

1130-1155頃

- **まずは顔合わせ（自己紹介）で一周。**
 - ①所属・名前、②近況（好きなこと、サークルなど自由に）、③書評の進行状況。
 - 順番は大岡山への通学時間短い順で
- **そのあと「②レスポンス」（応答）：**
 - 話を聞いて何を感じ考えたか？「私にはこう思える」という各自の意見を表現してみる。主観的で良い。
 - たくさん書いた人は、一区切りずつ回そう。それに関すること書いてる人は、自由に参入していいですよ。
- **違う考えの人がいたら、むしろチャンス。**
 - 「自分とは違う受け取り方、考え方をしている人がいる」
 - 違和感やズレを大切に、関心を持って、よく聴き、質問を。質問は理解したいからこそ。理解できると興味が湧いてくる。

全体で 1155-1205

- 全体のふりかえりの前に、今日は書評セッション5/9について補足を。
- 全体で、今日はどんな学びがありましたか？

書評の執筆について

- 書評のための図書は、
立志プロジェクトガイドブックの
「第5章 書評のための課題図書リスト」
または講演講師の著書から選ぶ。
(* ホームグループの中でのダブリは避けよう)
- 分量は、A4 一枚(1,200~1,600字)程度。
- ワード等で作成、**5/9(月)の授業**で画面共有または
チャットでのファイル送信ができるようにする
(授業の中でピアレビューを行います)。
- ピアレビューでの指摘をもとに文章を練り直し、
5/23(月)までに完成版をT2SCHOLA提出。

どうやって本を入手するか

- ・東工大図書館では課題図書が展示されています。
貸し出しもおこなっています。

<https://www.libra.titech.ac.jp/info/event/20220401>

- ・「リベラルアーツ図書室」(大岡山キャンパス
西9号1F)にも課題図書が揃っています。
貸し出しもおこなっています。

<http://libra.ila.titech.ac.jp/>

<http://libra.ila.titech.ac.jp/posts/news88.html>

- ・東工大生協では「立志プロジェクト」コーナーが
設置されています。もちろん購入もできます。

東工大立志プロジェクト

ガイドブック

東京工業大学
リベラルアーツ研究教育院

IL
LA

INSTITUTE FOR LIBERAL ARTS

ガイドブックの内容

- 序. 「立志プロジェクト」とは何か？
1. **グループワーク**を楽しもう！
 2. **プレゼンテーション**でまとめよう！
 3. アカデミックライティングに挑戦しよう！
 4. **書評**を書いてみよう！
 5. **書評のための課題図書リスト**
- 付録 **ふりかえりノート**

第4章と第5章をよく読んでから書評を書いてみよう。

剽窃（コピー）は厳禁です

- 今後授業の課題として書くレポートや論文では、剽窃（コピー&ペースト）は厳禁です。
- レポート課題における剽窃は、試験での不正行為（カンニング等）と同様に扱われ、少なくともその課題の出た科目の単位は付与されません。
- 以上は、立志プロジェクトの「書評」でも同様ですので、よくよく注意してください。

中グループふりかえり

1210-1220

- 先のホームグループで話した順、1番から4番ごとに集まってみます。
- 4つのグループを作ります。7人組になるはず。
- 分かれたらホームグループNoの若い順に、
- 1) 一言自己紹介、で一周し、さらに
- 2) 今日の授業を振り返って、印象的だったこと（気づき・発見・学び）を話してみよう。
- 時間余れば自由に質問。

- 進め方の基本
- 笑顔で挨拶
- 順番を決めて

次回の講義3は、
永野三智先生
(水俣病センター相思社)
-当事者とは誰か-
水俣病と東工大の関
わり、覚えてます
か？今も終わってい
ない問題です。



山本先生との対談も予定。

木曜までには、URL送ります。

5月2日、連休中ですが、お忘れなく！

最後に フィードバックシート記入

- 何か質問があれば、どうぞ
- では最後に3-4分ほど一人で振り返る時間を。
 - 今日の授業を振り返ってみて、「気づいたこと、発見したこと、学んだこと」など自由に書いて下さい。私へのフィードバックにもなります。
- フィードバックシートor~~チャット~~に
- Googleフォームを用意しました。
 - https://docs.google.com/forms/d/1qkvRRtZAqpLyUcrMIR_jAfGjm7_u1Wn1PwnGu0Ui9_E/edit
 - チャットに入れるので、URLをクリックして記入してください。